



□■□ 事故防止メルマガ「Think」／Vol. 280

■□■ 【発行】シンク出版株式会社 <https://www.think-sp.com/>

// // I N D E X //

- 1・2023年7月後半の安全管理ごよみ
- 2・危機管理意識を高めよう～運転者の体調管理に配慮していますか
- 3・交通事故の裁判事例～2つの事故を一体的に捉え、絶対的過失相殺を採用
- 4・今日の朝礼話題～モバイルバッテリーを車内に放置しない
- 5・【新発売】
 自己診断テスト「事故を防ぐヒューマンエラー危険度診断」
- 6・【新発売】
 小冊子「突然現れる二輪車を見落とすな」
- 7・【好評発売中】
 教育用テキスト「運行管理者のためのドライバー教育ツールPart 5」
- 8・【今月の注目商品】
 小冊子「健康管理と安全運転」



★7月後半の安全管理ごよみ

- ◆1日（土）～31日（月）
 - 車内事故防止キャンペーン（バス）（都道府県バス協会等）
 - 2023年度陸上貨物運送事業「夏期労働災害防止強調運動」
（陸上貨物運送事業労働災害防止協会）
- ◆1日（土）～8月31日（木）
 - 熱中症予防強化月間（環境省）
- ◆1日（土）～9月30日（土）
 - 2023年度港湾労働安全強調期間（港湾貨物運送事業労働災害防止協会）
- ◆16日（日）
 - 国土交通Day（国土交通省）
- ◆17日（月・祝）

——海の日

◆ 23日（日）

——日本最高気温の日（41.1℃）

◆ 30日（日）

——東北自動車道全通記念日

※詳しくはシンク出版のWEBサイト「今月の運転管理」で紹介しています。

【今月の運転管理↓】

<https://www.think-sp.com/2023/06/12/kongetsu-untenganri-2023-jul/>

■ 危機管理意識を高めよう

『運転者の体調管理に配慮していますか』

さる6月18日、北海道で乗客を乗せた高速バスと畜産会社の大型トラックが正面衝突し、双方の運転者と乗客を含む5人が死亡、乗客12人が重軽傷を負う事故が発生しました。

トラックは突然、ゆるいカーブで対向車線にはみ出しており、事故の背景にトラック運転者の体調不良があるのではないかという報道があります。…

【続きを読む↓】

<https://www.think-sp.com/2023/07/03/management-health-related-accident/>

■ 交通事故の裁判事例

今回は、交差点を直進していた乗用車と右折していた二輪車が衝突して二輪車ライダーが路上に投げ出され、乗用車の後ろを走行していた中型トラックが二輪車ライダーを轢過して死亡させた事故で、過失割合等が争われた事例を紹介します。

『2つの事故を一体的に捉え、3者の過失を絶対的過失相殺で認定』

【事故の状況】

平成27年12月14日午後8時57分ごろ、Aは乗用車を運転して京都府八幡市内の信号機のない丁字路交差点を直進しようとしたところ、対向車線から右折してきた自動二輪車Bと衝突し、Bは路上に投げ出されました（第1事故）。

その直後、Aの後ろを走行していた中型トラックCは、路上に横臥していたBに気づかず乗り上げました（第2事故）。この一連の事故でBは、多発外傷を原因とする出血性ショックにより死亡しました。

Bの家族らは、Aは制限速度を20キロも超過して走行するなどの過失があり、Cも路上横臥しているBを轢過するなどの過失があり、A、Cの過失は60%は下らないと主張しました。

一方Aらは、二つの事故は時間的にも場所的にも近接しており、AとCは一体的に走行してきたと考えるべきであり、Bが70%、A、Cがそれぞれ15%とするのが相当であると反論しました。

【裁判所の判断】

「第1事故と第2事故は、時間的にも場所的にも近接しているうえ、第2事故後にAとCがBの救出活動を行っている時点では、Bは生存しており、Bの死亡が第1事故により生じたものか第2事故により生じたものか不明であるので、AとCには人的損害について共同不法行為責任が成立する」

「過失割合については、第1事故が直進する四輪車と対向車線を右折する二輪車の事故であること、Aが制限速度を相当超過する速度で進行していること、第2事故が夜間の出来事であり、Cにとって路上に倒れているBを発見するのは可能だったとはいえ、相当困難であったといえることなどの事情に照らし、Bの過失を60%、Aの過失を30%、Cの過失を10%とするのが相当である」

としました。なお、過失相殺の方法は、AとCの行為を一体的に捉え、これとBの過失割合とを対比して過失相殺する方法（いわゆる絶対的過失相殺）を採用しています。

(大阪地裁 令和2年3月12日判決)

■今日の朝礼話題

『モバイルバッテリーを車内に放置しない』

外出時にスマートフォン等を充電できるモバイルバッテリーは、今や欠かすことのできないものになってきました。皆さんの中にも、持ち歩いている人は多いのではないのでしょうか。

便利なモバイルバッテリーですが、先日、独立行政法人「製品評価技術基盤機構 (n i t e)」から気になる注意喚起が行われました。…

【続きを読む↓】

<https://www.think-sp.com/2023/07/03/tw-power-bank/>

シンク出版WEBサイトでは、朝礼時や会報作成時に参考にしていただける「今日の朝礼話題」を毎日（弊社営業日）更新しています。（情報のご利用につきましては、以下「当サイトのご利用について」をご確認ください↓）

<https://www.think-sp.com/about/>

■【好評発売中】自己診断テスト

「事故を防ぐヒューマンエラー危険度診断」

※仕様 A4判／4ページ（複写式）／カラー刷

※価格 550円（1セット＜5冊＞・税込・送料実費）

運転時に一度ミスを起こしてしまうと、交通事故へと結びつくリスクが高いため、運転時のミスは極力避けなければいけません。

本テストは、このような事故に結びつきやすいミスを「ヒューマンエラー」

として、「手抜き行動」や「思い込み・錯覚」など6つの危険度に分類しています。自身の運転を振り返り、48の質問に「ハイ」「イエ」で答えていただくことで、自身がどのようなヒューマンエラーを起こしやすいかを診断することができます。

10分程度のテスト終了後は、ヒューマンエラーを起こす危険度が高い運転行動を改善するためのアドバイスを読んでいただくことで、テストの結果を日々の安全運転に活かしていただけます。ぜひご自身のヒューマンエラー危険度を把握して、今後の事故防止へとお役立てください。

【詳しくはこちら↓】

<https://x.gd/mM0Dz>

■ 【新発売】小冊子「突然現れる二輪車を見落とすな」

※仕様 B5判／16ページ／カラー刷

※価格 825円（1セット＜5冊＞・税込・送料実費）

車体の小さい二輪車は、四輪車のドライバーからは見落としやすく、また、一度事故を起こすと悲惨な事故につながりやすい存在です。

本冊子は、6つの代表的な事故を取り上げ、事故に至るまでの四輪車のドライバーと二輪車のライダーの意識のギャップに焦点をあてることで、なぜ事故が起こったのかを確認し、四輪車と二輪車との事故を防止することをねらいとした教育用冊子です。

ぜひ本書をご利用いただくことで、事業所での対二輪車事故防止につながれば幸いです。

【詳しくはこちら↓】

<https://x.gd/bWusg>

■ 【好評発売中】

教育用テキスト「運行管理者のためのドライバー教育ツールP a r t 5」

※仕様 A 4 判／8 8 ページ／カラー刷

※価格 1, 8 0 0 円（税別・送料実費）

本書は、トラック運送事業の運行管理者の皆さんに広く活用いただいている、国土交通省告示「指導・監督の指針」12項目に準拠した「運行管理者のためのドライバー教育ツール」の第5弾です。

今回発売のP a r t 5より、各項目の管理者用資料を従来の1ページから3ページに増量し、指導・監督の指針に沿った教育をさらに深く、効果的に実施していただくことができます。

ドライバーミーティングや点呼時に活用でき、教育記録も残せる本ツールを是非ご活用ください。

【詳しくはこちら↓】

<https://bit.ly/3IdqslC>

■【今月の注目商品】小冊子「健康管理と安全運転」

※仕様 B 5 判／1 6 ページ／カラー刷

※価格 8 2 5 円（1セット<5冊>・税込・送料実費）

上記「危機管理意識を高めよう」のコーナーでも紹介したとおり、先日北海道で発生した高速バスと大型トラックとの正面衝突事故は、トラック運転者の体調不良が原因ではないかと報道されています。

体調不良はどんな仕事をしていても気をつけるべきことですが、やはり特に仕事で運転をする機会がある方にとっては、運転中の体調不良は大変高いリスクを帯びます。常日頃から、運転における健康リスクのチェックは欠かさないようになさってください。

本冊子は、代表的な健康起因事故をマンガを中心に6事例紹介しており、それぞれに健康管理のヒントを提示しています。

巻末にはハイ・イイエで回答する健康リスクチェックも掲載していますので、ご自身の運転時の健康リスクを簡単に理解することができます。

【詳しくはこちら↓】

<https://x.gd/abLyA>

【事故防止メルマガ「Think」のバックナンバーはこちら↓】

<https://goo.gl/duF5ws>

本メールマガジンは、名刺交換をさせていただいた方々にも送信させていただいております。今後、メールマガジンの購読を希望されない場合は、お手数ですが下記アドレスまでご連絡をいただきますようお願いいたします。

(令和5年7月3日送信)

★Twitterアカウントを開設しました。是非、一度ご覧ください！

<https://twitter.com/thinkshuppan>

※本メールは「MSゴシック」などの等幅フォントで最適に表示されます。



～人と車の安全な移動をデザインする～

シンク出版株式会社

大阪市北区天神橋1-7-15ピアリッツ天神橋501

TEL 06-6809-1989

FAX 06-6809-1984

Eメール mail@think-sp.com

URL <https://www.think-sp.com/>

